

2014 秋の教育普及プログラム 屋外アトリエワークショップ  
 「草木実染めの糸で作る刺繍の“色々ブローチ”の様子



刺繍作家のヒグチエリさんを講師にお招きして刺繍のブローチ作り。受付初日にすぐ定員に達してしまったこのプログラム。実は、春から当館のガーデニング倶楽部の方々と一緒に準備してきました。使った色とりどりの刺繍糸は美術館の屋外アトリエ（裏庭）で育ててきたカモミール、ブルーベリー、ぶどう、藍、紅花、青紫蘇、赤紫蘇、を塩や酢などで媒染して染めた糸です。春から秋に向けて育ててきた草・花・実を収穫して、糸を染める日にはヒグチさんも参加して手伝ってくださり、季節の色とみんなの思いが詰まった糸が出来上がりました。ワークショップ当日は、ヒグチさんがこの日のために作ってくれた刺繍ミニ解説本を見ながら、基本となるストレートステッチ、チェーンステッチ、丸い玉がかわいいフレンチノット、丸い面を作るサテンステッチなどを学びました。どれも1つ1つは単純だけれど組み合わせていくと1つの形となり、ブローチの中に草や花や実が現われてきました。参加者の皆さんで同じ模様を作っても1つ1つ少しずつ表情が異なる素敵なブローチが出来上がりました。

(美術館 H.F.)

- 実施日 平成 26 年 10 月 24 日(金) 14:00 ~ 16:30
- 講師 ヒグチエリ (刺繍作家)
- 対象 18 歳以上の方
- 参加者 16 名



染色して作った刺繍糸



1 画用紙を使って説明



2 ミニ解説本



3 講師からアドバイス



4 ひと針ひと針丁寧に



5 色々ブローチの完成！



6 集合写真

● 講師からのメッセージ  
 ヒグチエリ (刺繍作家)

糸は何かと何かを繋ぐもの。刺繍をすることは言葉を綴ることや歌を歌うことに繋がるかもしれない。そんなことを思っ  
 て手を動かします。見て触れて感じる詩のようなものであったらいいと思います。自然の植物で染められた糸を使い、仲の  
 良い色やお互い少し離れた色も1つの輪っかにおさめるような丸いブローチを作りました。